

## 国立青少年教育施設における傷病の概況（令和6年度調査）速報値 ＜ 概要版 ＞

### 調査結果のポイント

令和6年度の国立青少年教育施設（27施設）の利用者数は約149万人で、そのうち、傷病の発生件数は2484件（負傷767件、疾病1717件）で、前年度（3104件）に比べ、620件（負傷160件、疾病460件）減少した。

#### （負傷の概況）

負傷で多かった症状は「打撲」（162件）で、次いで「ねんざ」（118件）、「やけど」（98件）であった。症状毎に負傷した部位と負傷の要因をみると、それぞれ多かった部位や要因は表1のとおりであった。

表1. 負傷の症状別にみた負傷した部位と負傷の要因（上位3つ）

症 状	部 位	要 因
1. 「打撲」 (162件)	1. 「頭」(55件) 2. 「顔」(19件) 3. 「手・指」(16件)	1. 「不注意(本人)」(86件) 2. 「不慣れ(本人)」(45件) 3. 「注意不足(指導・引率者)」(32件)
2. 「ねんざ」 (118件)	1. 「足首」(90件) 2. 「手首」(11件) 3. 「足・指」(7件)	1. 「不注意(本人)」(51件) 2. 「不慣れ(本人)」(34件) 3. 「失敗(本人)」(29件)
3. 「やけど」 (98件)	1. 「手・指」(65件) 2. 「前腕」(11件) 3. 「手首」(4件)	1. 「不注意(本人)」(67件) 2. 「不慣れ(本人)」(48件) 3. 「注意不足(指導・引率者)」(27件)

負傷の発生件数が多かった活動は「野外炊事」（119件）で、次いで「スポーツ活動（野球、サッカー、テニス等）」（103件）、「自由時間」（68件）であった。活動毎に負傷の症状をみると、野外炊事では「やけど」(63件)、「きり傷」（23件）、「虫さされ」（14件）、「スポーツ活動（野球、サッカー、テニス等）では「打撲」(73件)、「ねんざ」（22件）、「すり傷」（8件）、「自由時間では「打撲」(21件)、「すり傷」（11件）、「ねんざ」（10件）が多くなっていた。

#### （疾病の概況）

疾病で多かった症状は「発熱」（707件）で、次いで「頭痛」（241件）、「嘔吐」（175件）であった。なお、発熱のうち、「熱中症による」ものは55件であった。症状毎に発症した要因をみると、発熱では「疲労(本人)」(420件)、「気温(環境)」（140件）、「病原体(ウイルス等)(環境)」（103件）、「頭痛では「疲労(本人)」(142件)、「気温(環境)」（87件）、「日差し(環境)」（48件）、「嘔吐では「疲労(本人)」(89件)、「気温(環境)」（30件）、「不安・心配・緊張(本人)」（28件）が多くなっていた。

(負傷の発生件数・割合の推移 (前回調査との比較))

- ・症状別にみると (表 2)、前回調査と同様に、「打撲」(21.1%) や「ねんざ」(15.4%)、「やけど」(12.8%) といった負傷の占める割合が高くなっている。
- ・活動内容別にみると (表 3)、「野外炊事」(15.5%) の占める割合が最も高く、次いで「スポーツ活動 (野球、サッカー、テニス等)」(13.4%)、「自由時間」(8.9%) となっている。前回調査と比べると、「オリエンテーリング・ウォークラリー」(6.6%) の割合が高くなった一方、「創作活動 (クラフト等)」(3.9%) の割合は低くなった。

表 2. 症状別負傷発生件数・割合の推移 (上位 10 項目)

令和5年度(前回調査)				令和6年度(今回調査)			
順位	症状	件	%	順位	症状	件	%
1	打撲	175	18.9	1	打撲	162	21.1
2	ねんざ	144	15.5	2	ねんざ	118	15.4
3	やけど	138	14.9	3	やけど	98	12.8
4	虫さされ	107	11.5	4	虫さされ	81	10.6
5	きり傷	105	11.3	5	きり傷	78	10.2
6	すり傷	71	7.7	6	すり傷	69	9.0
7	骨折	33	3.6	7	骨折	35	4.6
8	突き指	17	1.8	8	さし傷	23	3.0
9	さし傷	16	1.7	9	突き指	15	2.0
9	鼻血	16	1.7	10	鼻血	12	1.6

表 3. 活動内容別負傷発生件数・割合の推移 (上位 10 項目)

令和5年度(前回調査)				令和6年度(今回調査)			
順位	活動	件	%	順位	活動	件	%
1	スポーツ活動(野球、サッカー、テニス等)	140	15.1	1	野外炊事	119	15.5
2	野外炊事	127	13.7	2	スポーツ活動(野球、サッカー、テニス等)	103	13.4
3	自由時間	87	9.4	3	自由時間	68	8.9
4	創作活動(クラフト等)	68	7.3	4	オリエンテーリング・ウォークラリー	51	6.6
5	登山・ハイキング	66	7.1	5	登山・ハイキング	46	6.0
6	オリエンテーリング・ウォークラリー	57	6.1	6	移動中	42	5.5
7	移動中	38	4.1	7	研修・学習活動	41	5.3
8	就寝時間(起床時も含む)	37	4.0	8	創作活動(クラフト等)	30	3.9
9	研修・学習活動	34	3.7	9	キャンプファイヤー・キャンドルセレモニー	23	3.0
10	キャンプファイヤー・キャンドルセレモニー	33	3.6	10	アドベンチャープログラム・イニシアティブゲーム	20	2.6

## 傷病の特徴と今後の安全対策

### 1. 負傷の特徴と安全対策

#### (負傷の特徴)

- 負傷した状況を見ると、野外炊事では包丁や鉋による手のきり傷や熱い鍋を触ってのやけど、スポーツ活動（野球、サッカー、テニス等）では練習中や試合中の接触や転倒による骨折や脱臼、打撲、自由時間では遊んでいる時やベッドにいる時、移動している時に起きた事故による骨折やきり傷、打撲といった負傷が目立っている。
- 負傷が発生した時間をみると、活動（午前）・活動（午後）ともに後半の時間帯になるにつれ、負傷の割合が高くなる傾向がみられる。
- 負傷の要因をみると、不注意、不慣れ、失敗といった本人の要因が5割半、注意不足や指導不足といった指導・引率者の要因が2割、虫・動植物、不安定さ・滑りやすさといった環境要因が1割強を占めている。

#### (今後の安全対策)

- 指導者は、参加者に対し、入所時や活動前の安全指導（施設ではどのような事故やけがが起きやすいのか、それらはどうすれば防げるのかなど）を徹底し、安全意識（自分の身は自分で守る、他の人の安全にも気を配る等）の向上に努めるようにする。
- 指導者は、活動前だけでなく、活動中も事故やけがの予兆を見逃さないよう危険（リスク）の発見、把握に努めるようにする。特に、活動が後半になるにつれ、負傷する割合が高くなる傾向がみられることから、状況に応じて適切な安全指導や安全対策を行うようにする。
- 施設では、事前打ち合わせの際に、安全意識啓発チラシを活用しながら施設で起きやすい事故やけがとその安全対策についてきちんと説明し、利用団体の指導者・引率者が適切な安全管理や安全指導を行えるよう支援する。

### 2. 疾病の特徴と安全対策

#### (疾病の特徴)

- 発症した症状をみると、発熱、頭痛、嘔吐、吐き気、腹痛が上位を占めており、いずれの症状も「疲労」や「不安・心配・緊張」、「気温」が主な要因として挙げられている。
- 疾病の申し出があった時間をみると、他の時間帯に比べ、起床・朝食等や活動（午前）の時間帯の割合が高い傾向がみられる。
- 発症した後の対応をみると、疾病を申し出た者の45%は帰宅している。

#### (今後の安全対策)

- 施設での生活は、普段の生活とは異なるため、慣れない環境による不安や緊張で寝不足になることもある。計画段階では、利用者の年齢や体力に合わせた無理のない活動計画を立てるようにする。
- 利用期間中は、朝の時間帯を中心に定期的に健康チェックを行い、疲れている様子がみられる利用者には適宜休憩を取らせ、体調を崩さないように配慮するなど、利用者の疲れ具合や体調に合わせた柔軟なプログラム運営を心がけるようにする。

## 調査の概要

---

### 1. 調査の趣旨

本調査は、国立青少年教育施設で発生した傷病や事故の状況を把握し、その傾向や要因を検証することで、施設の安全管理の改善や安全対策の充実に資する基礎資料を得ることを目的としている。

### 2. 調査対象とした傷病の条件

研修期間中に発生した傷病もしくは活動等によって既往症が悪化した傷病のうち、以下のいずれかの状況に該当する傷病

- ・保健室や事務室で対応した傷病
- ・病院を受診した傷病（事務室を通さず、団体が直接病院に搬送した傷病も含む）
- ・活動現場等で施設職員が手当てした傷病

### 3. 調査期間

令和6年4月1日（月）～令和7年3月31日（月）

### 4. 調査対象とした施設

国立青少年教育振興機構が有する施設 27 施設（国立オリンピック記念青少年総合センターを除く）

### 5. 調査実施体制

国立青少年教育振興機構教育事業部事業企画課（調査・普及）、青少年教育研究センター（集計・分析）

### 6. 調査内容

- （1）傷病者の情報（氏名、性別、年齢）
- （2）傷病が発生した状況（日時、利用者数、天候、活動場所、活動内容、処置・静養後等）
- （3）けが（症状、部位、程度、けがをした時の状況）又は病気（症状、時期）
- （4）傷病の発生要因（本人、指導・引率者、装備等、環境）

### 7. 本書を読むに当たって

- ・複数の傷病が重複して発生した場合、最も当てはまる症状の一つを選んで回答しているため、副次的に発生した傷病は件数に含まれていない。

例：自転車で転倒し、手首を骨折、足を擦りむいた場合 → 骨折（手首）として集計

- ・重複回答や無回答によって回答が分からなかったものは「不明」として集計している。
- ・図表に示している回答比率（%）は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、その和が 100.0%と一致しない場合がある。

# 調査結果の概要

## 1. 施設で発生した傷病の概況

表 1-1. 負傷・疾病別・事業種別の発生状況 (件)

事業別	傷 病			負 傷			疾 病		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
研修支援	2434	1338	1096	745	431	314	1689	907	782
教育事業	49	30	19	22	15	7	27	15	12
不 明	1	1	0	0	0	0	1	1	0
計	2484	1369	1115	767	446	321	1717	923	794

研修支援：学校や青少年団体、青少年教育関係者等の研修目的達成に向けて、広く学習の場や機会を提供し、より効果的なプログラムの提案や教育的指導、助言等を行うこと。

教育事業：青少年の課題や国の政策課題に対応しつつ、立地条件及び地域特性やニーズに対応した、青少年の体験活動事業や青少年教育指導者等の養成研修事業を行うこと。

表 1-2. 年齢期別傷病発生件数・割合

年齢期	負傷		疾病		計	
	件	%	件	%	件	%
幼児	25	3.3	52	3.0	77	3.1
小学生	329	42.9	852	49.6	1181	47.5
中学生	222	28.9	438	25.5	660	26.6
高校生	74	9.6	201	11.7	275	11.1
大学生等	76	9.9	117	6.8	193	7.8
社会人	36	4.7	53	3.1	89	3.6
その他	4	0.5	4	0.2	8	0.3
不明	1	0.1	0	0.0	1	0.0
計	767	100.0	1717	100.0	2484	100.0

表 1-3. 月別傷病発生件数・割合

月	負傷		疾病		計		
	件	%	件	%	件	%	
春・夏	4月	66	8.6	141	8.2	207	8.3
	5月	136	17.7	194	11.3	330	13.3
	6月	98	12.8	208	12.1	306	12.3
	7月	103	13.4	302	17.6	405	16.3
	8月	93	12.1	199	11.6	292	11.8
	9月	82	10.7	202	11.8	284	11.4
秋・冬	10月	71	9.3	139	8.1	210	8.5
	11月	37	4.8	99	5.8	136	5.5
	12月	16	2.1	84	4.9	100	4.0
	1月	17	2.2	49	2.9	66	2.7
	2月	23	3.0	49	2.9	72	2.9
	3月	25	3.3	51	3.0	76	3.1
不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
計	767	100.0	1717	100.0	2484	100.0	

表 1-4. 時間別傷病発生件数・割合

時間		負傷		疾病		計	
		件	%	件	%	件	%
起床・朝食等	6時	3	0.4	53	3.1	56	2.3
	7時	20	2.6	132	7.7	152	6.1
	8時	17	2.2	133	7.7	150	6.0
活動(午前)	9時	32	4.2	104	6.1	136	5.5
	10時	66	8.6	121	7.0	187	7.5
	11時	94	12.3	131	7.6	225	9.1
昼食	12時	66	8.6	119	6.9	185	7.4
活動(午後)	13時	67	8.7	94	5.5	161	6.5
	14時	80	10.4	89	5.2	169	6.8
	15時	86	11.2	102	5.9	188	7.6
	16時	60	7.8	91	5.3	151	6.1
夕食・入浴等	17時	38	5.0	112	6.5	150	6.0
	18時	27	3.5	135	7.9	162	6.5
活動(夜)	19時	43	5.6	76	4.4	119	4.8
	20時	35	4.6	65	3.8	100	4.0
	21時	23	3.0	71	4.1	94	3.8
	22時	5	0.7	32	1.9	37	1.5
就寝	23～5時	3	0.4	54	3.1	57	2.3
不明		2	0.3	3	0.2	5	0.2
計		767	100.0	1717	100.0	2484	100.0

※上記(左)の時間帯は施設の標準的な生活時間帯を示している。

表 1-5. 場所別傷病発生件数・割合

場所		負傷		疾病		計	
		件	%	件	%	件	%
生活エリア	宿泊室	63	8.2	432	25.2	495	19.9
	通路・階段	28	3.7	32	1.9	60	2.4
	食堂	10	1.3	161	9.4	171	6.9
	浴室	15	2.0	4	0.2	19	0.8
活動エリア	研修室・オリエンテーション室	33	4.3	172	10.0	205	8.3
	体育館・プレイホール・講堂	131	17.1	203	11.8	334	13.4
	武道場	17	2.2	13	0.8	30	1.2
	クライミングウォール	0	0.0	1	0.1	1	0.0
	工作室・調理室等	5	0.7	5	0.3	10	0.4
	野外炊飯場	123	16.0	106	6.2	229	9.2
	テントサイト	8	1.0	10	0.6	18	0.7
	グラウンド・広場・コート等	100	13.0	155	9.0	255	10.3
	屋外運動コース(登山、OL、サイクリング等)	98	12.8	168	9.8	266	10.7
	ロープスコース	3	0.4	5	0.3	8	0.3
海洋施設	38	5.0	44	2.6	82	3.3	
その他	敷地外の活動場所(バス等の移動も含む)	37	4.8	143	8.3	180	7.2
	その他	57	7.4	60	3.5	117	4.7
不明		1	0.1	3	0.2	4	0.2
計		767	100.0	1717	100.0	2484	100.0

※アドベンチャープログラムで使用する活動場所

表 1-6. 活動内容別傷病発生件数・割合

活動		負傷		疾病		計	
		件	%	件	%	件	%
陸上活動	登山・ハイキング	46	6.0	49	2.9	95	3.8
	オリエンテーリング・ウォークラリー	51	6.6	134	7.8	185	7.4
	クロスカントリー	2	0.3	24	1.4	26	1.0
	サイクリング・マウンテンバイク	7	0.9	0	0.0	7	0.3
	アドベンチャープログラム・イニシアティブゲーム	20	2.6	33	1.9	53	2.1
	クライミング・ボルダリング	2	0.3	3	0.2	5	0.2
	スポーツ活動（野球、サッカー、テニス等）	103	13.4	151	8.8	254	10.2
水辺活動	カッター・カヌー・ボート・ヨット	16	2.1	29	1.7	45	1.8
	シュノーケリング・スキndaイビング	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	海水浴・磯遊び・釣り	17	2.2	7	0.4	24	1.0
	沢登り・川遊び	10	1.3	11	0.6	21	0.8
雪上活動	スキー・スノーボード	14	1.8	15	0.9	29	1.2
	クロスカントリースキー	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	雪上活動（雪遊び、スノーシュー等）	5	0.7	8	0.5	13	0.5
野外生活	野外炊事	119	15.5	106	6.2	225	9.1
	キャンプ（テント設営等）	5	0.7	3	0.2	8	0.3
	キャンプファイヤー・キャンドルセレモニー	23	3.0	38	2.2	61	2.5
	創作活動（クラフト等）	30	3.9	33	1.9	63	2.5
	自然観察	9	1.2	25	1.5	34	1.4
研修	研修・学習活動	41	5.3	196	11.4	237	9.5
	奉仕活動	1	0.1	4	0.2	5	0.2
生活	自由時間	68	8.9	172	10.0	240	9.7
	つどい（朝・夕）	9	1.2	52	3.0	61	2.5
	清掃	5	0.7	29	1.7	34	1.4
	食事	16	2.1	180	10.5	196	7.9
	入浴	16	2.1	9	0.5	25	1.0
	就寝時間（起床時も含む）	11	1.4	201	11.7	212	8.5
	移動中	42	5.5	50	2.9	92	3.7
その他	入所前	1	0.1	30	1.7	31	1.2
	その他	77	10.0	119	6.9	196	7.9
不明		1	0.1	6	0.3	7	0.3
計		767	100.0	1717	100.0	2484	100.0

表 1-7. 病院受診別傷病発生件数・割合

病院の受診	負傷		疾病		計	
	件	%	件	%	件	%
無	514	67.0	1501	87.4	2015	81.1
日帰り	244	31.8	204	11.9	448	18.0
入院	4	0.5	5	0.3	9	0.4
不明	5	0.7	7	0.4	12	0.5
計	767	100.0	1717	100.0	2484	100.0

表 1-8. 処置・静養後の対応別傷病発生件数・割合

処置・静養後	負傷		疾病		計	
	件	%	件	%	件	%
活動継続	659	85.9	934	54.4	1593	64.1
帰宅	103	13.4	772	45.0	875	35.2
不明	5	0.7	11	0.6	16	0.6
計	767	100.0	1717	100.0	2484	100.0

## 2. 負傷の概況

### (1) 負傷の状況

表 2-1-1. 負傷の症状

症状	件	%
きり傷	78	10.2
さし傷	23	3.0
すり傷	69	9.0
やけど	98	12.8
日焼け	0	0.0
凍傷	0	0.0
打撲	162	21.1
突き指	15	2.0
ねんざ	118	15.4
靭帯損傷・断裂	7	0.9
脱臼	7	0.9
骨折	35	4.6
鼻血	12	1.6
歯の破折	3	0.4
眼のけが	5	0.7
虫さされ	81	10.6
かぶれ	6	0.8
気道閉塞・誤嚥	0	0.0
溺水	0	0.0
その他	48	6.3
計	767	100.0

<その他>

肉離れ、爪はがれ、靴擦れ、とげ等

表 2-1-2. 負傷の部位

	部位	件	%	%
頭部	頭	80	10.4	22.5
	顔	66	8.6	
	眼	16	2.1	
	首	11	1.4	
上肢部	肩	12	1.6	40.2
	上腕	13	1.7	
	肘	33	4.3	
	前腕	25	3.3	
	手首	31	4.0	
	手・指	194	25.3	
	全身	1	0.1	
胸	2	0.3		
腹	5	0.7		
体幹部	背中	2	0.3	2.5
	腰	9	1.2	
	尻	1	0.1	
大腿	7	0.9		
膝	43	5.6		
下腿	37	4.8		
足首	121	15.8		
足・指	55	7.2		
全身	1	0.1	0.1	
不明	3	0.4	0.4	
計	767	100.0		

表 2-1-3. 「虫さされ」の種類

種類	件	%
アブ・ブヨ	27	33.3
ハチ	20	24.7
ダニ	13	16.0
毛虫	0	0.0
ムカデ	3	3.7
クラゲ	3	3.7
その他	15	18.5
不明	0	0.0
計	81	100.0

表 2-1-4. 負傷の程度

程度	件	%
軽微(その場で手当てでできる軽いけが)	528	68.8
軽傷(医師による1か月未満の治療を要するけが)	197	25.7
重傷(医師による1か月以上の治療を要するけが)	27	3.5
致命傷(死亡・後遺症が残る重篤なけが)	1	0.1
不明	14	1.8
計	767	100.0

表 2-1-5. 負傷の要因

(複数回答)

要因		件	%	%
本人	失敗	132	17.2	55.8
	不注意	340	44.3	
	不慣れ	208	27.1	
	不適切な行動	40	5.2	
	寝不足	5	0.7	
	疲労	44	5.7	
	不安・心配・緊張	3	0.4	
	体力不足	14	1.8	
	人間関係(けんか、ふざけ等)	15	2.0	
	既往症	6	0.8	
	アレルギー	9	1.2	
指導・引率者	指導不足	70	9.1	20.0
	注意不足	163	21.3	
	経験不足	34	4.4	
	人数不足	12	1.6	
	連携不足	2	0.3	
	準備不足	12	1.6	
装備	不適切な服装	36	4.7	5.9
	装備不備	32	4.2	
	装備不良(破損・劣化)	5	0.7	
	施設・設備の故障・不具合	14	1.8	
環境	荒天(強風、雷、吹雪等)	9	1.2	12.9
	気温	12	1.6	
	日差し	4	0.5	
	高度(標高)	1	0.1	
	水深	1	0.1	
	雪	3	0.4	
	落石・落木	1	0.1	
	不安定さ・滑りやすさ	75	9.8	
	虫・動物	76	9.9	
	植物	5	0.7	
	病原体(ウイルス等)	2	0.3	
	その他	60	7.8	
不明	18	2.3	1.2	
回答者数		767		↑

※上記の数値は回答数(N=1463)を基に割合を算出

### 3. 疾病の概況

#### (1) 疾病の状況

表 3-1-1. 疾病の症状

症状	件	%
発熱	707	41.2
咳・喉の痛み	57	3.3
くしゃみ・鼻水	2	0.1
喘息	5	0.3
過呼吸	14	0.8
頭痛	241	14.0
めまい	41	2.4
吐き気	145	8.4
嘔吐	175	10.2
腹痛	117	6.8
下痢	3	0.2
生理痛	19	1.1
歯痛	0	0.0
脱水	12	0.7
けいれん	6	0.3
倦怠感(だるさ)	81	4.7
発疹	16	0.9
低体温	2	0.1
その他	74	4.3
計	1717	100.0

<その他>

乗り物酔い、寒気、低血糖、貧血 等

表 3-1-3. 疾病の発症時期

時期	件	%
数日前から	72	4.2
前日から	175	10.2
今朝から	402	23.4
急に	919	53.5
その他	123	7.2
不明	26	1.5
計	1717	100.0

<その他>

入所前、バス乗車中、食後、等

表 3-1-2. 疾病の要因

(複数回答)

	要因	件	%	%
本人	失敗	6	0.3	61.2
	不注意	19	1.1	
	不慣れ	186	10.8	
	不適切な行動	9	0.5	
	寝不足	230	13.4	
	疲労	950	55.3	
	不安・心配・緊張	289	16.8	
	体力不足	154	9.0	
	人間関係(けんか、ふざけ等)	4	0.2	
	既往症	68	4.0	
アレルギー	36	2.1		
指導・引率者	指導不足	30	1.7	4.8
	注意不足	83	4.8	
	経験不足	19	1.1	
	人数不足	3	0.2	
	連携不足	3	0.2	
	準備不足	16	0.9	
装備	不適切な服装	22	1.3	1.1
	装備不備	9	0.5	
	装備不良(破損・劣化)	0	0.0	
	施設・設備の故障・不具合	3	0.2	
環境	荒天(強風、雷、吹雪等)	25	1.5	22.8
	気温	397	23.1	
	日差し	158	9.2	
	高度(標高)	24	1.4	
	水深	1	0.1	
	雪	3	0.2	
	落石・落木	0	0.0	
	不安定さ・滑りやすさ	2	0.1	
	虫・動物	3	0.2	
	植物	1	0.1	
病原体(ウィルス等)	114	6.6		
その他	249	14.5	7.8	
不明	70	4.1	2.2	
回答者数	1717		↑	

※上記の数値は回答数(N=3186)を基に割合を算出